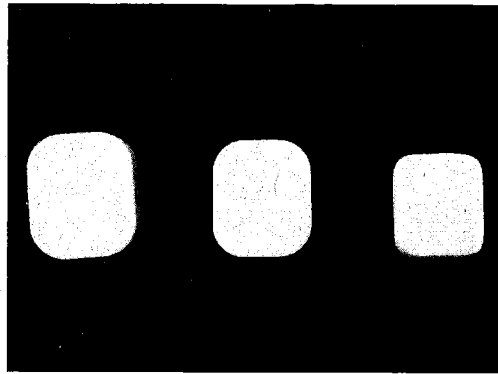


雪ヶ谷化学

アレルギー物質除去

天然ゴム配合 スポンジ 化粧用、年内実用化

雪ヶ谷化学工業（東京都品川区、坂本昇社長、03・6718・4401）は、天然ゴムからアレルギー原因物質を取り除く技術を開発した。原料段階で独自の処理を施すことで、アレルギーの原因となる物質「天然ゴムたんぱく」を取り除く。ゴムにアレルギーがある人でも、天然ゴム配合の化粧用スポンジを使えるようになる。2021年中の実用化を目指す。



酵素を活用してアレルギーの原因物質を分解する。アレルギーが起きにくくなり、ゴムアレルギーの人も天然ゴム配合の化粧用スポンジを開発するスポンジ（左から）合成ゴム製、天然ゴム製、合成ゴムと天然ゴム50%ずつ配合。見た目と使用感に大きな違いはない

ンジを使えるようになる可能性がある。ファンデーションなどの化粧品に付属する標準品のスポンジとして提案する。

従来、化粧用スポンジは、耐久性の高さなどから合成ゴムで作るが、石油由来の原材料を使うため、環境負荷が高い。ただ、天然ゴム100%にすると化粧料を吸い込み劣化してしまう。そこで雪ヶ谷化学工業は、天然ゴムのアレルギーの原因物質を除去した上で、合成ゴムに配合。合成ゴムの使用量を減らすことで、環境負荷の低減につなげる考えだ。雪

ヶ谷化学工業はスポンジの開発、製造、販売を手がける。化粧用スポンジの国内シェアは50%、フランスでは90%という。坂本社長は「元々は天然ゴム製が主流だったが、当社で合成ゴム製に切り替えた。天然ゴム100%に戻すわけではないが、環境負荷低減という時代のニーズに合わせて天然ゴムも積極的に使いたい」と話す。